

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	東アジア研究所		
報告書提出日	2019年4月19日		
留学予定期間	2019年4月～2020年2月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 920（およそ 120000 円） (€) /合計

航空券代： 150000 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他（保険料）： 160000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 8640 (€) /合計

合格が決まってからはパスポートの更新やその時にできる書類を提出した。

私の場合、パスポートが留学終了時に残り1か月だったので更新を行った。

1月10日に入学許可証が届いたので、寮の申請や航空券の予約を行った。

4月以降の出発の人は保険料が4月以前に出発の人と金額が異なる場合があるので、金額が決定してから申しこむべき。

寮の申請が終わると2月の頭に600€、その1か月後くらいに320€を海外送金しなければならない。また320€の送金と同時に寮の契約書にサインをして国際郵便で送る。

1月末にバディから連絡がきた。最初はメールできたが、それ以降はLINEでやり取りを行う。わからないことはすぐに聞いたことで、滞りなく行うことができた。

3月半ばに国際センターから奨学金受給証明書を受け取る。

ビザの申請に背景が白の証明写真が必要。ドイツでも撮影可能。

ドイツの空港での円から€への換金はレートが高いのでお勧めしない。するなら日本の空港がいい。

困ったこと

パスポートは本来有効期限を1年切らないと更新できないので、更新の必要性を市役所の人に伝えるのが大変だった。特に入学許可証がドイツから届く前に行ったので説得が難しかった。何事も証明をするなら画面上ではなく、紙で提出をすることが大事。

意外と短期間に多額のお金が必要となるのでしっかりと事前に準備をしておくべき。

海外送金の際に振り込む銀行の支店名と住所が必要であるにもかかわらず、記載がなかった。そのため自分でIBICで検索して解決したが、2回も銀行に行くことになった。

1.2. 渡航について

ドイツの空港に到着したらバディが迎えに来てくれていたので一緒に電車と徒歩で寮まで向かった（30分~1時間）。事前に飛行機の到着時間や便名を伝えておくといい。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

バディに事前に寮の鍵を管理人からもらっておいてもらおうと入寮がスムーズ。ちなみに前は1か月300€だった寮の家賃が今回から320€銀行の普通口座から引き落とされる。部屋についたらwi-fiの設定を行い、携帯とパソコンをつなげた。そのあとは必要なものを買いにスーパーへ行った。そのスーパーでSIMを買って、ドイツで使えるようにした。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

到着してから四日後くらいに手続きに行った。事前に大学などで必要な書類をそろえてから行った。その時に学生証をつくりに行った。学生証は発行に312€程必要となる。学生証があれば市内のバスや電車が乗り放題になったり、劇場の観賞や博物館、美術館の入場料が安くなることもある。

ビザの申請に閉鎖口座が必要だった。ビザの申請にはある程度の所得があることを証明しなければいけなく、留学生はおそらく720€×滞在月分のお金を一度に入れなければいけない。神奈川大学の奨学金では奨学金受給証明書上8万×11か月で88万8千円分証明されているが、ビザ申請の際には滞在が1年だと考えられ、1,624€足りず、閉鎖口座開設の手数料75€と合わせて1698€（約20万円）が必要となった。閉鎖口座はお金を入れたら自分で引き出すことはできず、毎月定額が普通口座に自動的に振り込まれる。その手続きを行い、また銀行から証明書をもらうことでビザ申請の書類がそろった。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

14時からプレイスメントテストを行った。パソコンで25分くらい穴埋めを行った。その場でレベルを言われるのでそれをもとに履修を組んだ。希望すれば英語のプレイスメントテストも受けることができる。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

まずドイツ語は文法を理解することから始めて、半期が終わるまでに簡単な日常会話ができるレベルにまで到達したい。英語はリスニング力がないので耳を慣らして自分で積極的に会話ができるようになりたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

バディたちがあまりにも日本語が上手なのでそれに頼ってあまりドイツ語を話すことがなかった。しかし、タンデムパートナーを見つけたことによってその時間を設けることができた。INEASTの学生の多くは日本語を学びたいと思っていると同時に、わたしたちのドイツ語を学びたいという意欲を理解してくれているのでお互いに向上していける関係が作れたと思う。

3.3. 今月の学習・研修目標

昨日の出来事やこれからの予定などを時制や格変化などに気を付けて話していけるようにしたい。また相手が話したことに対する反応や、自分の意見を言えるようにしていきたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	History (10:00~12:00) German (14:00~18:00)
火	English (10:00~14:00)
水	
木	German (14:00~18:00)
金	
土	German *補講 (14:00~18:00)
日	

4.2. 授業について

① Einführung in die Grundlagen und Entwicklungen der Länder Ostasiens 1 (120 分/週 1 コマ)

アジアの歴史は初回が日本の歴史に関することだったのでとからの知識である程度理解できたが、ドイツ語を聞いての理解には到達していない。また今後日本以外の国となると理解が難しいので、予習が必要となってくるだろう。

② EN2 Englisch A2 ES (240 分/週 1 コマ)

英語はレベルの割にしゃべれる人が多く、おそらく単語を知らないだけのように感じた。教室の雰囲気は発言しやすい雰囲気だったので積極的に参加していきたい。

③ DAF2 Deutsch A2 (240 分×2/週 2 コマ)

ドイツ語は多くの学生が先生の言っていることを理解しているように感じた。自分はそれすらも大変なので集中して取り組んでいきたい。

4.3. 予習・復習・自習について

現時点ではどの授業もガイダンスのようなものだったので予習・復習はしていない。自習は特にドイツ語の文法を見直したり、単語を覚えるなどをした。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮 (その他:)
物価は日本とはあまり変わらない。 寮はトイレとお風呂と洗面台が隣の部屋の人と共有なのでそれが少しストレスに感じる。 部屋は収納もたくさんあり、清潔感もある。 部屋によって家具の配置や部屋の作りが異なる場合もある。	

5.2. 課外活動について

空いている時間はタンデムをしたり、週末は電車に乗って少し遠くへと行き観光をした。またパーティーに招待されれば参加をした。

5.3. 現在までの感想

来てから約2週間がたったが、バディとはとても仲良くなれたと思う。本当に困ったときはいつも助けてくれて、遊びにも誘ってくれたことでドイツでの生活に早くなれることができたと思う。つたないドイツ語ではあるが買い物もできるので特に大きな問題はないが、やはり会話となると簡単な単語でゆっくり話してもらえないと理解が難しく、また理解できても自分の言いたいことがすぐに出てこないの練習あるのみである。まだ始まったばかりではあるが期限があるということ意識して生活していきたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（6月）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	東アジア研究所		
報告書提出日	2019年6月13日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

近々、ドイツ国内を1人で旅行することも考えているので、会話を中心に頑張っていきたい。また7月にテストがあり、文法・書き・聞き取りで最低40%を取らなければいけないので授業の復習にも取り組み、いい成績を取りたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

タンデムパートナーによって内容は異なるが、会話をする機会を設けることができたので大切にしていきたい。しかし、毎日ドイツ人と一緒にいる訳ではないので少ないように感じる。そこは自分の努力でカバーしていきたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

せっかく新しく知った単語を使わないと忘れてしまうので覚えた単語や文法を積極的に使って自分のものにしていきたい。リスニング力を強化するためにディクテーションやドイツ語でドラマを見るなどして向上していきたい。

2. 学修について

2.1. 授業について

① Einführung in die Grundlagen und Entwicklungen der Länder Ostasiens 1

最近日本の歴史から中国、韓国の歴史となったので前知識がない分わからないことが多い。とりあえずメモを取り、合間に知らない単語を調べるだけで精一杯である。

② DAF2_Deutsch A2

最初は教科書のページすら聞き取るのに苦戦していたが、今はある程度授業にはついていけていると感じている。しかし多くの生徒は答えを教科書に書くよりも発言することに意欲があるので、そこは日本と大きく違うように感じる。そのためしばしば発言せずに終わってしまうこともある。

③ EN_Englisch A2_ES

英語なのでドイツ語に比べれば発言はしやすい。文法は進行形や過去形など簡単な内容に感じるが、

時々自分が知らなかったことがでてくるので、よい復習になっていると思う。

2.2. 予習・復習・自習について

Einführung in die Grundlagen und Entwicklungen der Länder Ostasiens 1

テストが来学期なので特にしていない。

DAF2_Deutsch A2

宿題はもちろんわからなかった単語や表現を復習する。時間があれば日本から持ってきた問題集などで学習する。

EN_Englisch A2_ES

宿題のみ取り組んでいる。あとはわからなかった単語の復習。

2.3. 語学力について

同じレベルの人同士での会話や、練習が前提での会話では自分の意見を言うことができるが、ネイティブスピーカーの人たちに話しかけたりすることはまだ恥じらいを持ってしまっている。ゆっくりと簡単な単語で話してもらえれば、理解し、返事をするができる。自分の中ではまだ劇的な変化はない。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

特に問題なし。最近と同じ寮に住んでいる外国人とも話す機会が増え、共有スペースで会えば、あいさつや簡単な会話をするようになった。自炊も難なくこなせているので順調である。

3.2. 課外活動について

このおよそ2ヶ月でロンドン、アムステルダム、バルセロナに旅行した。すべて格安バス(Flixbus)での移動であるため、奨学金の中でやりくりできる程度の出費である。他にはパーティーや友達と出かけるなどして過ごしている。

3.3. 現在までの感想

インプットばかりでアウトプットの機会をうまく活用できていないように感じる。書く・読むは自分でも進歩を感じているが、話す・聞くはあまり上達していないように感じる。とにかく夏休みのドイツ語集中講座を受講するにはテストを一発で合格する必要があるため、それをひとまずの目標として目指していきたい。自分の将来はまだ何をしたいのか決まっていないので、就職も就職以外のことも今は何も思いつかない。しかしここにきて改めて何かを始めるのに年齢は関係ないように感じる。ほとんどの場合で20歳は大学のなかで若い部類に入るので、必ずしもひとつの道しかないわけではないことを感じている。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (10月)

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	東アジア研究所		
報告書提出日	2019年10月18日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

日常会話や簡単な意見交換ができるようになるレベルに達するために、会話を重点的に伸ばしていく。留学での経験を活かしつつ、自主学習も継続し、将来的には B2 合格を目標にする。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

目標であったドイツ語の集中講座の試験を合格することができた。タンデムは1人とのみだが続けることができた。自主学習においては、自分は継続的に物事を続けることが苦手なため、その日によって取り組んだ量に差があった。

1.3. 今月の学習・研修目標

ドイツ留学中に Gothe Zertifikat B1 に合格することを目標に取り組んでいく。前期とは異なって多くの授業を履修したので、夏休みの不規則な生活を見直し、効率的に学習できるよう1日の流れをつくっていく

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Daf-Übung:Wortschatztraining_Moodlekurs(9:00~10:00) Grundlagen der Soziologie(12:00~14:00)
火	EN_Englisch:Gesprächstraining (für Studierende mit Grundkenntnissen auf Niveau A2 bis B1)_ES(12:00~14:00)
水	EN_Englisch B1(10:00~14:00)
木	DAF8_Deutsch B1/2(16:00~19:30)
金	
土	
日	

2.2. 授業について

① Daf-Übung:Wortschatztraining_Moodlekurs

来週からのため実際の様子はまだわからないが、シラバスによると語彙に特化した授業である。基本のドイツ語の授業はほとんど週 1 回のため、足りないと感じる人は Daf-Übung を取るべきであると考え

② Grundlagen der Soziologie

社会学の基礎を学ぶ授業。新入生向けの講義であるためまず社会学とは何かの説明から始まり、回を追うごとに社会学について深く理解していく内容である。日常生活に存在する現象などに疑問を持つことが理解を深める第一歩となるだろう。講義を受けて前期よりも単語がひとつひとつ聞こえたように感じた。

③ EN_Englisch:Gesprächstraining

(für Studierende mit Grundkenntnissen auf Niveau A2 bis B1)_ES

少人数で行われる会話に特化した授業である。授業内容はプレゼンテーション、ディベート、ディスカッションをそれぞれ一回ずつ行っていく。準備の時間も設けられているので、厳しい授業ではないと感じた。学生間、学生と先生との雰囲気もとても良く、発言しやすい。

④ EN_Englisch B1

発音や文法に重点を置いているように感じた。前回の英語の授業と雰囲気が異なり、あまり自由に発言はしない。

⑤ DAF8_Deutsch B1/2

学生も先生もレベルが高く、集中していないと話している内容を聞きそびれてしまう。前期では日本人と同じクラスだったが、今回は自分一人なため、より一層努力が必要である。しかし以前よりも単語が聞き取れるように感じたので、さらに向上していけるよう取り組んでいく。

2.3. 予習・復習・自習について

① Daf-Übung:Wortschatztraining_Moodlekurs

まだわからない。

② Grundlagen der Soziologie

おそらく毎回課題が課されるので、取り組む。

③ EN_Englisch:Gesprächstraining

(für Studierende mit Grundkenntnissen auf Niveau A2 bis B1)_ES

課題に取り組む。事前に自分の意見や考えをまとめておく必要がある。

④ EN_Englisch B1

現時点では特になし。

⑤ DAF8_Deutsch B1/2

課題と自主学習を各自最低 30 分はするよう指示があった。

2.4. 語学力について

あまり英語を話す機会がなくなり、低下したように感じたので英語の授業を通して取り戻していきたい。ドイツ語では、Gothe-Zertifikat B1 の模擬テストを受けたところリスニングが一番低かったため、毎日 Deutsch Welle や Deutsch to go などでもリスニング問題に取り組んでいる。トピックによって理解力に偏りがあるので、単語力も同時に高めていく。またテストの傾向なども調べていき、合格へと近づ

けるようにしていく。さらにタンデムも新しく始まり、以前とは異なり会話の時間を多くした。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	-----------------

寮に住む人も変わり、かなりおしゃべりな人と出会った。話す内容は少し難しいが、お互い楽しく会話できたのでうれしく思う。このような機会を大切にしていきたい。

3.2. 課外活動について

授業が始まり、忙しくなってきたため自由に過ごせる時間もほぼ週末のみとなった。私よりも前に留学にきていた人は全員帰国したため、今は私たちが後から来た留学生を引っ張っていかなければいけない。自らもイベントを計画して様々な人と出会う機会をつくろうと思う。12月にはドイツならではのクリスマスマーケットが開催されるので、様々な人と行く予定だ。

3.3. 現在までの感想

生活面では新しい学期が始まり日本人、ドイツ人ともに新しい出会いがあった。今までは出会う機会を作ってもらうことが多かったが、これからは自分が積極的に関係を築いていきたい。学習面では留学も残り5か月を切ったことを考えると、自分に残された時間は少ないと思うし、少なからず焦りも感じている。しかし授業が始まってドイツ語に触れる機会が増えたとき、よりドイツ語が聞こえ、ドイツ語が楽しいと感じるようになった。この状態に気づいたときは正直驚いた。この感覚を大切にしていきたい。今前期での取り組みを顧みると、反省する点もいくつかあった。それを改善して後期をいかにして過ごすかで結果は大きく変わるだろう。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	国際文化交流学科	3	年次
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)				
所属プログラム・ 学部・研究科	東アジア研究所	履修言語	ドイツ語		
留学期間	2019年4月～2020年3月				
報告書提出日	2020年3月13日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Sommer Semester	4月8日 ～7月12日 (14週)	7月15日 7月22日	ドイツ語英語ともにプレイスメントテストの結果をもとにオンラインで履修。言語以外の授業はバディと相談した上で、東アジアの歴史に関する授業を履修。言語のみ10日間のうちに登録をしなければならない。基本的にどの授業も登録解除はいつでも可能である。
Winter Semester	10月14日 ～1月31日 (14週)	2月1日 ～3月31日	ドイツ語英語ともに試験に受かっているため、次のレベルのクラスを履修する。今期のドイツ語は週1回のため、さらにオンライン上で課題に取り組む授業を履修。また英語も物足りなさを感じたため、英会話の授業を履修。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
Sommer Semester	DAF_Deutsch A2	112時間 4(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	講義は月曜と木曜に4時間、まれに補講で土曜に5時間となっている。内容は文法事項と教科書のテーマに関する単語を学んでいく。出身国ごと2、3人のグループになりプレゼンテーションを行う機会が1度ある。これがSprechenの評価に大きく影響する。試験前最

			後の授業で模擬試験をした。試験対策として私はリスニングを重点的に行った。文法事項は試験に一切出ないため、Lesen では読む速度や正確に文を理解する力が重要である。
Sommer Semester	EN2_EnglischA2_ES	56 時間	講義は火曜に 4 時間行われる。授業は現在進行形、過去形など簡単な文法を学び、ゲームを交えて使っていく。試験内容はすべて選択問題である。
		4(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	
Sommer Semester	OA1/2 Einführung in die Grundladien und Entwicklungen der Länder Ostasiens	28 時間	中国、日本、韓国の歴史について学ぶ。この授業は通年だったため、聴講として参加した講義形式のため基本的には説明を聞き、疑問があれば質問する。留学生は留学状況によって課題が異なり、レポート提出が必要な場合もある。
		2(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	
Sommer Semester	Ferienkurs Deutsch B1/1	50 時間	長期休暇中に短期間にわたって集中して行われる。2 週目の金曜日に試験があり、私の時は筆記試験後に Sprechen のテストがあった。
		5(時間/回) × 5(回/週) × 2(週)	
Winter Semester	OA5 Angewandte Ostasienstudien & Nachbetreuung des Auslandjahres	56 時間	留学から帰ってきた 4 年生が留学中の生活や経験を発表し、次に進路について考える。実際に卒業生の話聞き、大学院進学、インターンシップ、就職など自分の将来について考える。留学生は自分たちの留学についてと日本での就職活動について発表をした。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
Winter Semester	Grundladien der Soziologie	28 時間	社会学の基礎について例を交えながら学ぶ。テストは記述形式で講義にでた内容が問われる。
		2(時間/回) × 1(回/週) × 14 (週)	
Winter Semester	EN_Englisch:Gesprächstraining (für Studierende mit Grundkenntnissen auf Niveau A2 bis B1)_ES	28 時間	少人数で行う。始めに前回の授業で課されたテーマについて 1 分間話す。次に世界で問題となっている事、例えば環境や技術発展について議論するためにそれに関する単語や表現を学ぶ。次にテーマについて意見や考えを述べていく。評価は毎回の議論とは別に面接、プレゼンテーション、ディベートを行う。
		(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	

Winter Semester	EN_Englisch B1	56 時間	文法は受動態や完了形などを学んだ。教科書だけでなく先生が作った穴埋めプリントも使った。プリントを用いて重要な表現や語彙が学べたが、試験では一切出なかった。試験は A2 よりもかなり難しくなり、形式にも慣れる必要があるように感じた。
		4(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	
Winter Semester	DAF_Deutsch B1/2	56 時間	教科書は章毎にテーマが異なり、文法事項とともにテーマに関する単語も学ぶ。たまに Schreiben の課題があり、添削してもらう。試験の形式はあまり変わらず、やはり単語と読解力が重要である。
		4(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

言語の授業においては、最低限予習として単語調べをし、授業の進捗についていけるようにした。復習はまず宿題に取り組み、そこで間違えた問題を再度確認する。特に授業中にでてきた知らない単語や気になった表現などはすぐに調べるなり、メモを取り時間があるときに調べるようにした。講義の授業はオンライン上に講義の録画があがっているので、そこで再度教授が言っていたことやパワーポイントの内容をまとめる。

1.4. 語学力について

〈留学中の取り組み〉

A2 ではとにかく先生が話している時は集中して聞き、授業の進捗に遅れないよう意識した。また余裕があれば先生が発した単語を音だけで書き取り、辞書で調べた。とにかく語彙が少なかったので、知らない単語はその日のうちに調べた。特に動詞は前置詞とともに使われることが多いため、意味を調べるだけでなくどの前置詞と使われ、どのような意味になるのかまで調べることに重点を置いた。B1 になると単語が一気に難しくなり、さらに文も増えるので予習をするようになった。授業外ではタンデムパートナーと会話や授業中にわからなかったところを教えてもらい理解を深めた。また宿題はこなすだけでなく、なぜその答えになるのか説明できるよう意識した。また単語などを調べるときに、その単語に関連する語も調べることで分野毎の語彙を増やした。また授業中に学んだ E メール の書き方を実践するために自らアポイントメントをとるためのメールを送った。自分にとって最大の難関であるリスニングは DW で興味のあるテーマを何度も聞き、耳を慣らした。日常ではイヤホンをつけて外出することをやめ、周りの人の会話やアナウンスに耳を傾けるように意識した。Goethe 試験対策はまず公式ホームページに載っている単語を覚え、それから模試を解くようにした。リスニングの問題は Youtube にもいくつかあるため一通り取り組む。

〈成果〉

自分は A2 から始まったが、最初の授業では先生がどのページを言っているのか、教科書のどこをやっているのかを聞き取るだけでもかなり困難であった。少し気がそれるだけで授業から遅れてしまうことが多々あった。そのため授業中に自主的に発言する余裕もなく、終わってしまっていた。しかし後半からは余裕も生まれ、授業に積極的に参加できるようになった。また B1/2 では一気に難易度が上がり、

再びついていくことで精一杯になってしまったが、結果としては合格したため成長したと言える。自己評価としては生活に大きな支障はないレベルまで上達したといえる。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

〈学修内容〉

1, OA1/2 Einführung in die Grundlagen und Entwicklungen der Länder Ostasiens

東アジアの歴史として、日本・中国・韓国の歴史を学んだ。どれも概要から始まり、時系列に進んでいく。日本の歴史は復習のような感覚で、中学・高校で学んだような内容であった。始めは動画で現在のかたちになるまでを見ていき、視聴後は学生の質問に答え理解を深める。その後より重要な出来事をピックアップし、学ぶ。

2, Grundlagen der Soziologie

社会学の基礎を学ぶ授業であり、主に新一年生が履修する。社会学の定義から始まり、その後は自分の周りに存在する社会の種類や社会形成の成り立ちを学ぶ。毎回学生からの質問を募集しており、授業開始に回答をする。

〈成果〉

1, OA1/2 Einführung in die Grundlagen und Entwicklungen der Länder Ostasiens

もちろん全体的にすでに学んだ内容であったが、改めると忘れていたことも多々あり、もう一度自国の歴史を学ぶきっかけとなった。また理解することは難しかったが、学生たちの質問がかなりの的を射ており、感心するとともに自分には足りない姿勢であると気付いた。

2, Grundlagen der Soziologie

途中で断念してしまったため成果は少ないが、授業内容は面白いと思った。この講義は500人ほどの学生が履修する必修講義であるため、ドイツの大学で学ぶにはどの程度の語学力が必要であるのかを知った。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

〈反省点〉

自分の持っている能力よりもはるかにレベルが高い授業をとってしまい理解があまりに追い付かず、徐々にモチベーションがさがってしまった。

ペアでの発表時に相手との事前準備が不足していたために、順序良く行うことができなかった。

〈アドバイス〉

履修前にできれば他の学生に講義の雰囲気や留学生もついていけるかなど詳細を聞いておくといい。

語学はいくら初級レベルでも実際は履修している学生のレベルによるため、慎重に選ぶべき。

多くの場合相手のレベルのほうが高いため、準備の度合いは自分に合わせるべき。

2.3. 留学生活で得られたもの

はじめに思うことは1年間の留学を選択したことは有意義であったということだ。はじめは費用や単位が不安であったため、留学決定後も悩んでいた。しかし1年間過ごすことによって現地で暮らしている人々が参加するイベントの多くに立ち会えることができ、ドイツでの生活を1年というサイクルの中で体感することができた。実際に私はドイツで選挙やデモを目の当たりにし、自分の知識の無さに気づくことや新たな関心を持つことができ、またイースターやニューイヤーを体験し、実際の生活を知ることができた。またドイツには様々な異なる国籍の人々が暮らし、さらに大学では幅広い年齢の人と出会い、お互いが持つ目的や考えが異なることもかなり新鮮に感じた。様々な刺激を受けたことで、改めて自分がどのようにこれから生きていきたいのかを考えるきっかけにもなった。私が留学の中で得た一番大切なものは友人である。はじめは出会う人全員が初対面で、自分の考えもうまく伝えられず苦労したがそれでも耳を傾けて聞いてくれる人ができたことは何にも代えられない。またその存在があったからこそ、語学を学ぶモチベーションにもなった。住む国が異なるだけでこんなにも多くのことを学べたことは能力だけではなく、人としての成長を感じた。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

〈反省点〉

夏季休暇が3ヵ月と自分の予想以上あり、うまく長期休暇を利用することができなかった。

〈アドバイス〉

長期休暇を利用して職業体験やボランティアに参加することや、金銭的な余裕とやる気があれば語学学校に通うなど検討してみるのもいい。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年3月1日	
派遣先国	ドイツ	
派遣先大学	デュースブルク・エッセン大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(東アジア研究所) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	外国語学部 () 研究科	国際文化交流学科・専攻
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	4年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年4月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 12ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(34 m ² のワンルーム、家具は備え付けで、シャワールームとトイレはルームメイトと共有。キッチンフロアの住人14人程で共有。キッチンによっておいてある家電が異なるが、IHコンロとオーブンは必ずある。私のキッチンは電子レンジもあった。)
4	入居時手続き	(日本から初月の寮費320€と敷金の600€を海外送金する。パディと事前に連絡を取り、先に寮の鍵を受け取ってもらう。)
5	費用 (月額)	(4万)円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他()円
7	支払方法	(月ごとに口座から引き落とし)
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 (暖房はあるが冷房はない)
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他()
10	周囲環境	(スーパーマーケットは近くに3軒あり、薬局、ドラッグストア、カフェ、レストラン、銀行も近くにあるので立地に恵まれている。)
11	アクセス	(バスなら7分、徒歩なら15分ほどで着く。エッセンキャンパスへは大学からのシャトルバスを利用するか、電車で行く。どちらもおよそ

		30 分かかる。)
12	留学中の住居に関してアドバイス	(退寮時に部屋を元の通りに片づけなければ、敷金から清掃費が引かれるため、できるだけ汚さないよう、壊さないよう部屋を使うべきである。)
13	引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()
14	詳細を教えてください	(私のルームメイトはルーマニアの人で、かなり綺麗好きだったため、定期的な掃除がルールであった。またお互いに消耗品も共有していたため、トイレトペーパーやハンドソープなどは交互に購入していた。)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地で SIM カードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(スーパーマーケットで ALDI TALK を購入し、バディに設定してもらう。毎回自分でプランを選択し、利用する。支払いは口座からの引き落とししかスーパーでチャージ金額分を払い、レシートに記載されている番号を入力することで料金がチャージされる。)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1 ヶ月の平均)			
1	宿舍費	4 万円/月	備考 (320€)
2	食費	1 万円/月	備考 (90€)
3	交通費	円/月	備考 ()
4	通信費	1200 円/月	備考 (10€)
5	娯楽費	円/月	備考 ()
6	図書費	円/月	備考 ()
7	学用品 (教科書など)	円/月	備考 ()
8	被服費	円/月	備考 ()
9	医療費	円/月	備考 ()
10	雑費・その他	円/月	備考 ()

上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）			
11	出願料・宿舍デポジット	8万円/月	備考（600€ ）
12	ビザ申請関連費	2万円/月	備考（175€ ）
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	15万円/月	備考（200€ ）
14	その他	円/月	備考（ ）
15	留学全日程に要した総額（概算）	57万円/合計	
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：5万円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：埼玉りそな銀行） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）		
17	現地で銀行口座開設	した	
18	口座開設手続き方法・利点・欠点	現地で口座を開かないとビザを取得できないため必須である。寮費や学費も口座から行われる。	
19	お金に関するアドバイス	到着後から手続きのために払う機会が一気にくるため事前に用をしておくが良い。	

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 (12か月分で13万円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	薬はひとつももっていかなかったため、特にない。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの コンタクトレンズ、洗顔料、化粧水、化粧品、生理用ナプキン
2	現地で購入したもの その他消耗品
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの 雨があまり降らないことから日常的に傘を持ち歩くことがないため、代わりに防水の上着を持っているといい。

VI. 留学先で困ったこと

特に大きく困ったことはないが、日本と銀行のシステムが異なることに少し戸惑った。出金はどこでもできるが、入金小さな支店では窓口、大きな支店では機械で行える。また預金の際にはキャッシュカードをつくった街でのみ行える。これを知らなかったことで入金に間に合わなくなることがあった。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

いつどんな時に自分のものがなくなるかわからないため、少しでもなくなってほしくない物は持ってくるべきではない。